別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称 佐野市地域自立支援協議会幹事会 平成 2 3 年 7 月 5 日 (火) 午後 1 時3 0 分~ 3 時3 0 分 2 開催場所 佐野市総合福祉センター 西側会議室 3 委員等の人数 1 5 人 4 出席委員等の人数 1 3 人 平成 2 2 年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業の実施状況について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会が開いまか開・非公開・部公開・非公開・部公開・非公開・部公開・非公開・部公開・市の工工・地域生活支援事業実施状況、専門部会活動状況報告地域自立支援協議会事前質問の回答 ア成 2 2 年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業実施状況、専門部会活動状況報告地域自立支援協議会事前質問の回答 サポートファイルの活用については、宣伝・周知をどう広げていくかが課題。 ピアサポートファイルの活用については、宣伝・周知をどう広げていくかが課題。 ピアサポートファイルの活用については、宣伝・周知をどう広げていくかが課題。 ピアサポートファイルの活用については、電子が、コーディネーターは人脈のある。を採用した。精神障がい者の地域移行では、日中の居場に対した。
1 開催日時 午後1時30分~3時30分 2 開催場所 佐野市総合福祉センター 西側会議室 3 委員等の人数 15人 4 出席委員等の人数 13人 平成22年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業の実施状況について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について会専門部公開・非公開・一部公開・非公開・一部公開・非公開・中部公開・非公開・中部公開・中部公開・中部公開・中部公開・中部公開・中部公開・中部公開・中部
年後1時30分~3時30分 2開催場所 佐野市総合福祉センター 西側会議室 3委員等の人数 15人 4出席委員等の人数 13人 平成22年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業の実施状況について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部公開・非公開一部公開・非公開一部公開・非公開の理由 7傍聴者の数 0人 平成22年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業実施状況専門部会活動状況報告地域自立支援協議会事前質問の回答 サポートファイルの活用については、宣伝・周知をどう広げていくかが課題。ピアサポートセンターのスタッフは本来障がい者だが、コーディネーターは人脈のあるで採用した。
3 委員等の人数 15人 4 出席委員等の人数 13人 5 議題 平成22年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業の実施状況について各専門部会の活動状況と今後の展開について各専門部会の活動状況と今後の展開について公開・非公開・一部公開・非公開・一部公開・非公開・一部公開・主公開・中部公開・主公開・中部公開・主公開・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・中枢・
4 出席委員等の人数 13人 平成22年度障がい福祉サービス・地域生況表事業の実施状況について各専門部会の活動状況と今後の展開について公開・部公開・非公開・一部公開・非公開・一部公開・非公開・日本の関・非公開・日本の関・非公開・日本の関・非公開・日本の関・中枢ス・地域生況を援事業実施状況専門部会活動状況報告・地域自立支援協議会事前質問の回答 8 会議資料の名称 平成22年度障がい福祉サービス・地域生況専門部会活動状況報告・地域自立支援協議会事前質問の回答 サポートファイルの活用については、宣伝が周知をどう広げていくかが課題。ピアサポートセンターのスタッフは本来障がいるだが、コーディネーターは人脈のあるなを採用した。
平成22年度障がい福祉サービス・地域生況 支援事業の実施状況について 各専門部会の活動状況と今後の展開について 公開 一部公開 ・
支援事業の実施状況について 名専門部会の活動状況と今後の展開について 公開 公開 一部公開 正公開 一部公開 一部公開 一部公開 一部公開・非公開の理由 1
6 会議の公開・非公開 の
平成22年度障がい福祉サービス・地域生活支援事業実施状況専門部会活動状況報告地域自立支援協議会事前質問の回答 サポートファイルの活用については、宣伝が周知をどう広げていくかが課題。ピアサポートセンターのスタッフは本来障がいるだが、コーディネーターは人脈のあるで採用した。
8 会議資料の名称 支援事業実施状況 専門部会活動状況報告 地域自立支援協議会事前質問の回答 サポートファイルの活用については、宣伝で周知をどう広げていくかが課題。 ピアサポートセンターのスタッフは本来障が い者だが、コーディネーターは人脈のあるで を採用した。
周知をどう広げていくかが課題。 ピアサポートセンターのスタッフは本来障が い者だが、コーディネーターは人脈のあるで を採用した。
が安定していない。 9 会議の概要 (発言の要旨) 虚い、福祉と就労は切っても切り離せない。 働く気持ちを尊重したい。 どういうコーディネートをすれば職業開拓できるか、企業側でどういう仕事をしてもらるか。 か意見を聞く機会を。 「どんぐり」は地域に根付いて浸透してきたただ、イベントだけでなく小さい集団で本意が言える居場所としての活用を。
10 その他 地域自立支援協議会が法律上明確に位置付ける れた。さらなる活性化が求められる。